



渡辺 優子
(公明党)

観光振興

質 景気が後退局面に入った中で、観光産業は無限の可能性がある。本市でも「観光圏」の形成と「道の駅」を生かし、通過型観光の拡充を進め、地域の活性化を図るべき。

答 施設間の連携を図り良好な環境整備やサービスの提供等で魅力ある道の駅を目指したい。市は、誘客の促進のため、積極的に広域的な取り組みを進めている。また、観光事業は相互連携による相乗効果によりさらなる誘客ができることから、引き続き広域的な連携を図りながら、市の観光振興に努めていきたい。

脳脊髄液減少症

質 交通事故や、スポーツ外傷、転倒などで脳髄液が漏れ、頭痛やめまい、うつ症状や倦怠感などさまざまな症状に苦しめられる。教育現場と市民に対し、情報提供を行うべき。

答 昨年度、養護教諭が研修に参加するなど、認識が徐々に深められており、今後に関心を高めていきたい。また医療機関情報は県のホームページで公開されているが、今後、市の広報やホームページでも最新の情報等の掲載や健康教育などの保健事業の中で正しい知識の周知を図り、早期発見、早期治療を支援していきたい。

その他の質問事項

- ・ 予防医療



薩摩 博
(よねしろ会)

木都のしろの木材振興策

質 自然にやさしい地域づくりを目指し、地元産材を活用した公営住宅や公共建築物の木造化と内装の木質化で地域の活性化を。

答 18年度に市公共建築物整備産学官連携研究会を立ち上げ、それまで建設された公共木造建築物の検証を行うとともに公共建築物に地場産材の活用や景観、建築技術、コストの課題を検討、研究し、木材優位性のPRや供給体制の整備等を図ってきた。今後でもできる限り公共建築物の木造、木質化に努めたい。

秋田スギの温もり事業

質 厳しい経営環境に余儀なくされている木材業界の支援策の一環として、地元工場から生産される各種の木材、木製品の需要拡大等による新メニューの考えは。

答 現在実施している秋田スギ温もり事業は、平成22年度までの予定であるが、利用された市民、木材供給業者、建築業者等の意見や要望を聞きながら、22年度中に事業の継続の必要性について検討していきたいと考えている。

その他の質問事項

- ・ 旧淳城第二小体育館と市民体育館
- ・ 小規模修繕等契約希望者登録制度



畠 貞一郎
(大河・生々・みどりの会連合)

地方分権に対する市長の考え

質 地方分権を進めるためには、国の干渉を排除する規制緩和と財政上の自立が必要である。しかし、まずまずの地域間格差が広がることも考えられる。地方分権に対する考えはどうか。

答 住民に身近な行政を地方が行うことにより行政の簡素化・効率化が推進されると考えているが、移譲された権限を遂行するための財源の確保等、慎重に対応する必要もあると思う。また、国の調整機能の喪失による地域間格差の拡大等が懸念されるため、真の地域再生等に資する制度となる必要があると考えている。

イオン出店問題

質 イオン側から、その後、出店に関してどのような説明があったのか。また、市民、議会への説明をきちんと申し入れたのか伺う。

答 イオン側との交渉について、9月4日、イオンリテール株式会社との東北開発部の責任者にお会いし、その席上、議会におけるさまざまな御意見は伝えていく。

その他の質問事項

- ・ 政権交代による市長のスタンス
- ・ 都市計画マスタープラン整備方針
- ・ 能代宇宙イベントと空き店舗対策